

ICT機器を効果的に活用した授業実践

～生徒が自ら課題発見・解決に向けて取り組む保健の授業～

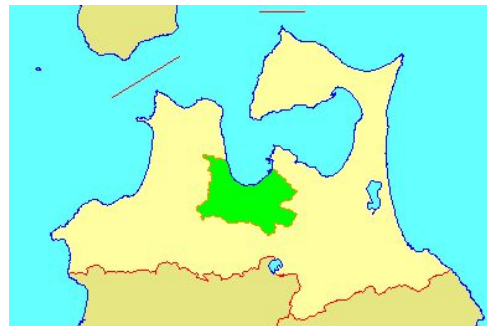
北海道登別明日中等教育学校
保健体育科 教諭 田川 雄基

自己紹介

出身：青森県青森市出身

経歴：根室高校（H29～）→登別明日中等教育学校（R4～）

専門種目：サッカー

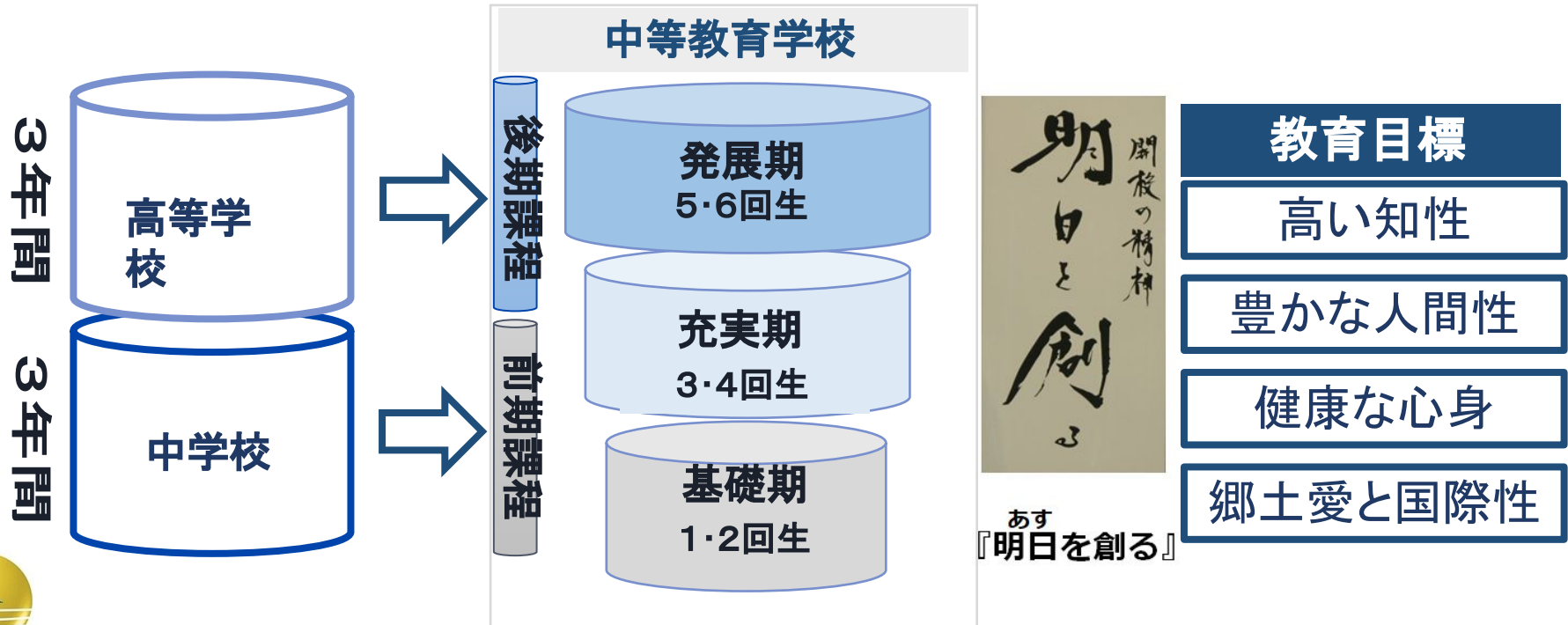


学校概要

北海道立で唯一の中等教育学校



スクールミッション「ここでしかできない教育を追求する」



在籍狀況

在校生	男子	女子	計
1回生	35	43	78
2回生	33	44	77
3回生	28	50	78
4回生	24	47	71
5回生	29	44	73
6回生	24	43	67
12/1	173	271	444

寮生	男子	女子	計
1回生	8	4	12
2回生	4	7	11
3回生	3	2	5
4回生	5	1	6
5回生	2	4	6
6回生	4	5	9
12/1	26	23	49



中等教育学校としての「保健体育」の特色

異年次交流

授業



行事



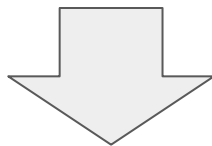
本校のICT機器環境

- ・chromebook240台(前期生)、BYOD端末(後期生のみ各自1台)
- ・モニター6台、インタラクティブボード3台、プロジェクター6台他
- ・全教室、体育館にWi-Fiが整備(格技場やグラウンドはルーターを移動して使用可能)
- ・各授業やホームルームにおいて、Google workspaceを活用(授業やSHR、オンライン授業における活用)



昨年度は3年生における保健においてICTを活用した授業実践を展開した。

今回は引き続き、その年次において、ブラッシュアップしたICTを活用した授業を実践した。



今回の発表はその2年間分における発表の
まとめ(**中学校**～**高校** にかけて)である。





本日の内容

①昨年度の授業実践における概要について

②今年度の授業実践について

③2年間を通じた成果と課題について





①昨年度の授業実践における概要について

✓「生きる力」を育む中学校保健教育の手引からみた中学保健の授業

✓ICTを活用した意図と授業実践について



中学校の保健について

中学校の保健分野は第1学年から第3学年にかけて合計48単位時間程度指導することとされている。

高校のように科目保健として1つの授業とはなっていないく、保健体育の授業の中で体育と平行しながら保健を実施していくという流れになっている。

現状としては、悪天候などで外での体育の実施が困難な場合や考査の前に保健を実施している。



第2節 指導の基本的な考え方

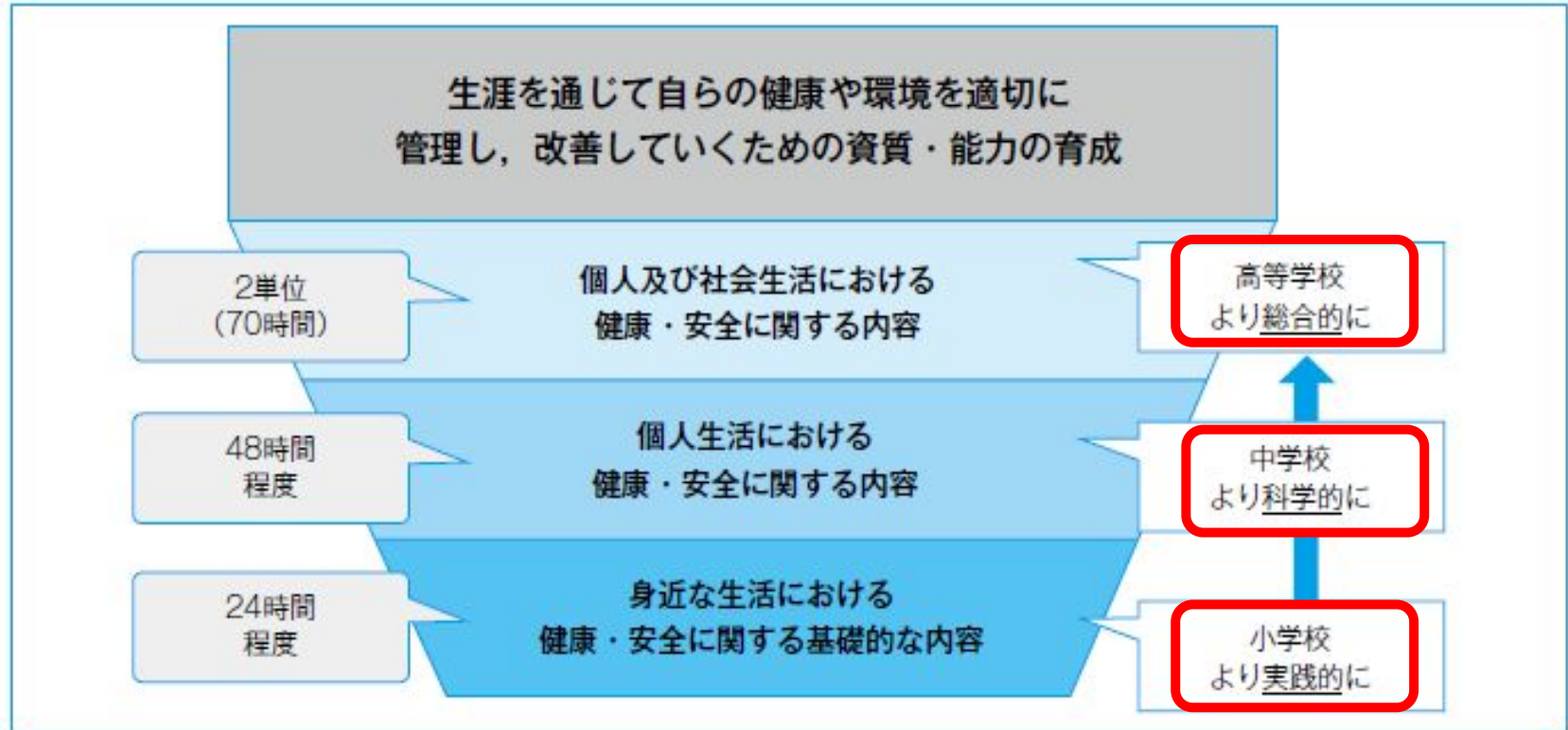
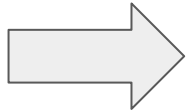


図1-3 保健における体系イメージ



第2節 指導の基本的な考え方

また、中学校では、「健康な生活と疾病の予防」、「心身の機能の発達と心の健康」、「傷害の防止」、「健康と環境」の四つの単元について学習するが、小学校、中学校、高等学校において、おおむね同様の内容を繰り返し学習するのも保健の特徴である。指導に当たっては、それぞれの発達の段階に応じた指導を工夫することが求められる（図1-4）。



中学校は、小学校保健で学んだものを汲んで、高等学校の保健へとつなげる重要な位置であると言える。

昨年度は、知識の習得はもちろんだが、思考力・判断力・表現力の育成に重きを置いた。



ICT活用の意図

ALL ICTを活用した授業 → 筆記用具のように端末を使う

- ・毎時間小テストの実施で知識の定着（Googleフォーム）
- ・授業の充実（jamboard、リンク機能など）
- ・学習内容のポートフォリオ化（GoogleスライドをPDFに）
- ・教員の負担軽減（例 授業プリントをGoogleドキュメントにし、課題提出させることで配付・回収・再配布の作業効率化）



授業冒頭で小テスト実施

⑫精神疾患の特徴

質問 回答 69 設定 合計点: 4

出席番号を半角数字で入力 (1番⇒1) 0を入れないこと

短文回答

問1 精神疾患は、あるものが生物的・心理的・身体的・社会的要因により障害されることで引き起こされるものである。あるものとは何か？

脳

心臓

胃

問2 精神疾患の初期症状の一つ書きなさい。

短文回答

問3 精神疾患は誰にでも発症する可能性がある。当てはまっている物一つ選びなさい。

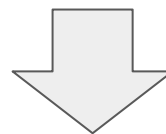
2人に1人がなる

4人に1人がなる

6人に1人がなる

問4 薬物やアルコールなど物質に対する執着を**依存**と言うが、ゲームやギャンブルなど行動に対する執着はなんといふか？

漢字	クラス	選択してください	出席番号を半角数字で入力 (1番 問1)	精神疾患は、あるものが生物的・心理的・	問2	精神疾患の初期症状	問3	精神疾患は誰にでも発症する可能性がある	問4
4	B	21	脳	不安	4人に1人がなる	嗜癖			
4	B	22	脳	睡眠障害	4人に1人がなる	嗜癖			
4	B	33	脳	食欲がなくなる	4人に1人がなる				
4	B	8	脳	睡眠不足	4人に1人がなる	嗜癖			
4	B	27	脳	食欲がなくなる	4人に1人がなる	中毒			
4	B	5	脳	眠れなくなる	4人に1人がなる				
4	B	30	脳	食欲低下	4人に1人がなる	嗜癖			
4	B	07	脳	頭痛	4人に1人がなる	固執			
4	B	19	脳	眠れなくなる	6人に1人がなる	嗜癖			
4	B	4213	脳	眠れなくなる	4人に1人がなる				
4	B	4	脳	食欲不振	4人に1人がなる				
4	B	28	脳	眠れなくなる	4人に1人がなる	嗜好			
4	B	32	脳	集中力の低下	4人に1人がなる	中毒			
4	B	31	脳	人と関わるのが不安になる	4人に1人がなる				
4	B	36	脳	落ち込みやすくなる	4人に1人がなる				
4	B	01	脳	感情のコントロールがしに	4人に1人がなる				
4	B	10	脳	倦怠感	4人に1人がなる	嗜癖			
4	B	11	脳	睡眠不足	4人に1人がなる				



定着していない箇所をタイムリーで把握し、解説することができる。

授業冒頭でのブレインストーミングにて

閉め切った室内に多くの人が長時間いるとど



Googleドキュメントを活用した授業プリント

16 単元 健康と環境 ⑥ごみの処理

3回生 B組 (28) 番 氏名 XXXXXXXXXX

学習目標: ①ごみを衛生的に処理する必要があること、日本におけるごみ処理の実態について理解しよう。
②ごみの問題を解決するためにどんなことができるかを考えよう。

・ごみは(資源化)、(再利用)、日本で一番多いのが(焼却)、(埋め立て)によって処理されている。

→環境や健康に悪影響を及ぼさないように衛生的な処理が必要! () や ()

☒健康問題…プラスチックごみ

☒環境問題…最終処分場(埋立地)の不足、地球環境の悪化

・ごみの(3R)の推進

★リデュース (Reduce) …(発生抑制) (使う資源やごみの量を減らす)

★リユース (Reuse) …(再利用) (物を繰り返し使う)

★リサイクル (Recycle) …(再生利用) (使い終わったものを資源として再び利用する)

・今後は限りある資源を有効に使う(循環型社会)を目指していくことが求められる。

・IW (調べ学習)

グリーン購入の促進・ごみ減量化の取組を推進・古紙の分別を徹底・リサイクル率目標年次(平成41年度)までに14%以上

・まとめ

- ・ごみは環境や人体に悪影響を及ぼすため、ごみ処理施設や最終処分場などで処理されて、焼却が最も多い。
- ・ゴミの問題を解決するために、3Rの推進など循環型社会を目指していく必要がある。

**リンク機能の活用により、
説明資料や動画などを素
早く生徒が把握すること
ができる。**

課題解決の話し合いグループワークにて

Aさんは陸上競技部に所属している中学3年生の女子。中距離走を専門としており、夏休みは8月の下旬に開催される大会に出場するために練習していた。

夏休みのある日、Aさんは前日に夜更かしをしたため朝寝坊し、朝食を食べずに家を出て部活動に参加した。Aさんのお母さんは、朝食を食べよう声をかけたがAさんは聞く耳を持たなかった。天気予報では「午前中から30度を超え、最高気温は35度が予想される猛暑日になります。また、湿度は60%になるでしょう。」と伝えていました。Aさんは、天気予報を気にも留めていませんでした。

練習中にいつもより体が軽いと感じたAさんは、水分補給の時間があつたにも関わらず、水分を摂らずに走り続けていました。すると突然、頭痛と吐き気のため倒れこんでしまい、救急車で運ばれました。診断は熱中症でした。



どうやったら防ぐことができた？

お母さんの
言うことを
聞く

早く起
きる

天気予
報を確
認する

水分
補給

夜更し
しない

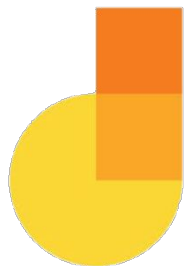
朝食を
食べる

陸上部
に入ら
ない

夜早く寝て早く起きてしっかり朝食食べて家出る前に天気予報確認して部活中は水分補給をする

②今年度の授業実践について

✓ 新たなアプリケーションを使用した、**生徒が自ら課題を発見し解決する授業**



Jamboard

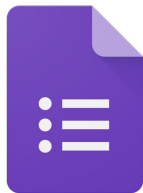


ICTを活用した、生徒が **自ら課題を発見し解 決する** 授業実践に向けて

昨年度は思考力・判断力・表現力の育成に重きを置いたが、今回は知識の習得にも重きをおいた授業を展開した。



昨年度に引き続き 使用しているもの



Google Forms

知識の定着
➡ 毎時間の小テスト



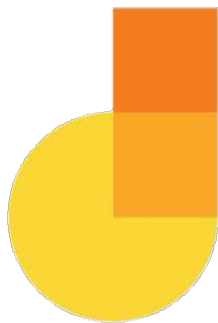
今年度使用しなかったもの



Jamboard

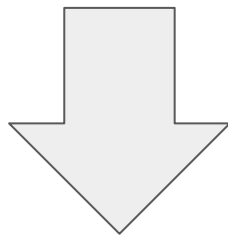


昨年度は授業プリントとしてGoogleドキュメント、思考力・判断力・表現力の育成のために、jamboardを使った授業を行っていたが…



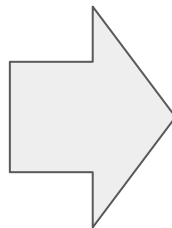
Jamboard

10月以降ジャムボードが
使えなくなる。
どうしようか…

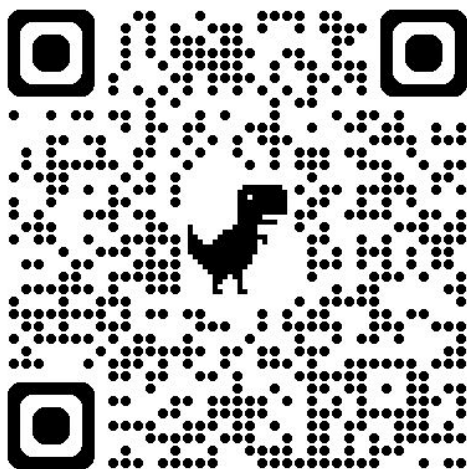


フィグマの中にあるFigJamと
いうアプリを使ってみよう！





北海道教育庁のアカウント
で無料で使用することが
可能である。

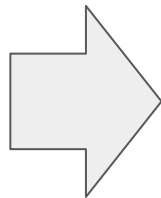


フィグマの中にあるFigJamとい
うアプリの主な使い方について



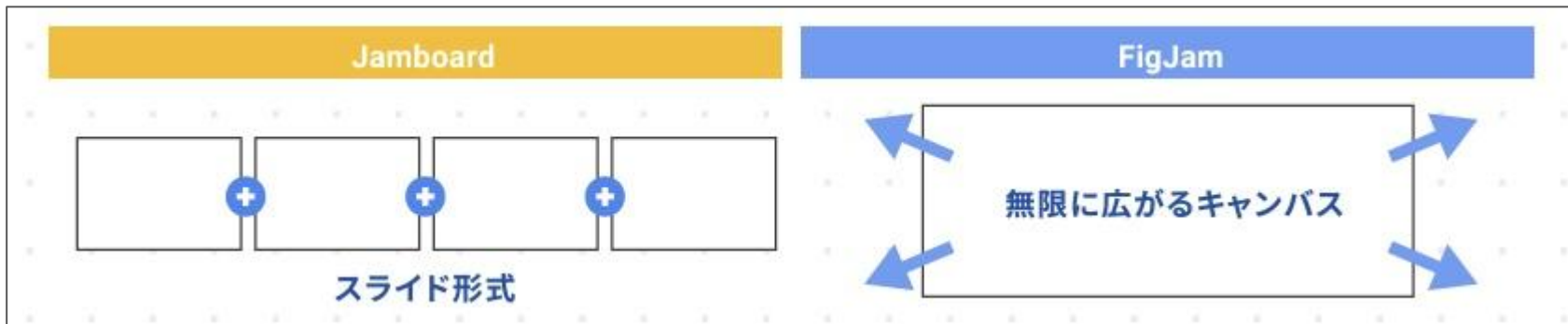


Figma



無限に広がるホワイトボード のようなもの

Jamboard と FigJam の相違点		
	Jamboard	FigJam
同時ユーザー・セッション	50	250 (閲覧のみ 500)
履歴の表示	○	○
手書き・テキスト・画像挿入	○	○
背景画像設定	○	○
付せん	・改行不可 ・無記名	・改行可能 ・記名 / 無記名選択可能
作業スペース数	20 フレームまで	無制限 (1枚のキャンバスのようなボードが無制限に広がる。セクションを分けることで個別のページのように使用可能)
発表補助ツール	レーザーポインター	スポットライト機能



FigJamこんな風に使ってみた！①

授業プリントとして使用してみた。



と比べて

- ・見栄えが良くなり生徒の**興味関心を引くデザイン**を作ることが可能に。
- ・**画面を拡大することができるので細かい資料**なども添付可能に。

Section 2 episode14 精神疾患からの回復

学習目標
①精神疾患の治療について例を挙げて説明できる
②精神疾患の適切な治療や回復のためには、どのような社会環境が必要か説明できる

①知っている精神疾患...
言語を介して心理的な支援を行う **カウンセリング**
抗うつ薬や抗不安薬などによる **薬物療法**
身体的コンディションの調整 **リハビリ**

入院治療中心から **地域生活** 中心へ！
Section 1
専門病院での入院治療が中心
地域社会の支援から切り離される+長期間の入院
社会復帰がますます困難に...
現在では...
入院期間を伸ばさない or 通院で治療
社会復帰を促すための専門職や社会復帰を果たした病気の経験者による支援 (**ピアサポート**) の重要性が認識されている。
地域における社会生活を維持するうえで...
デイケア や訪問看護などの回復を支援するプログラムが必要である。
社会復帰に際して、**就労支援** など地域における包括的なケアのための環境整備が求められている。

②なぜ偏見や差別が生まれる...
うわさ
わからずい

差別や偏見のことを **スティグマ** という。
残念ながら広く社会に潜んでいる。
意識不足 からくるものが大きい。
結果として、不調や病を隠すことにつながり、回復の遅れにつながっていく。
だから、偏見や差別を減らすことはすごく大事！

Section 3

FigJamこんな風に使ってみた！①

専門家による支援と治療

★精神疾患の支援と治療

- 精神疾患の前兆に気が付いたら、保健室での相談の他に精神科医などの専門家に援助を求めることも有効であるにも、**保健所や保健センター、精神保健福祉センター**などは、専門家様々な相談に応じる

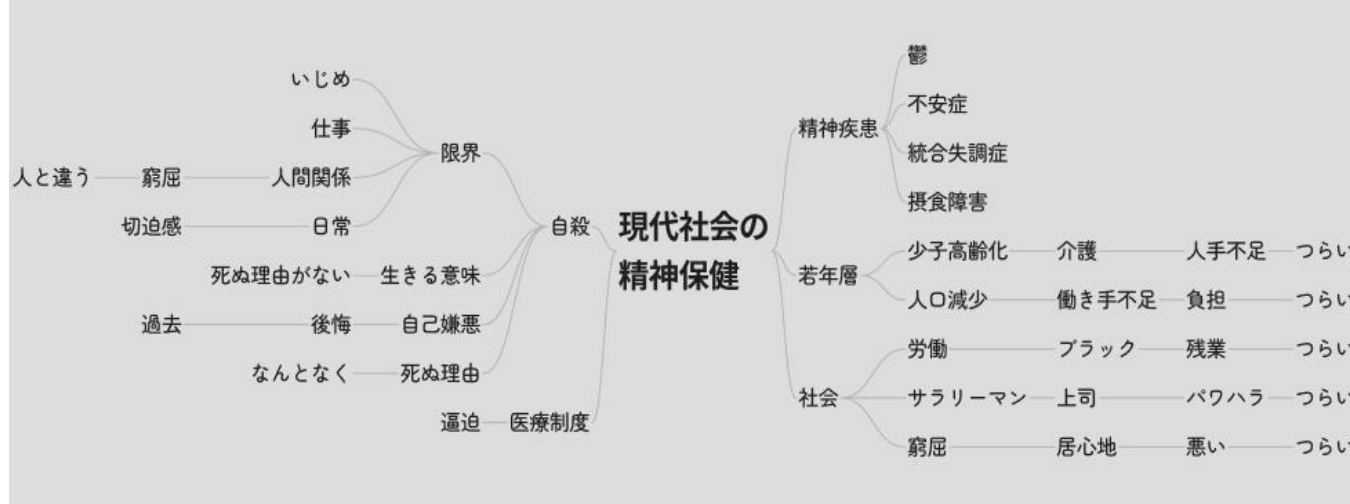
開く pref.hokkaido.lg.jp/hf/sfc/



昨年に引き続き **リンク機能** による、根拠情報等の共有を行った。



FigJamこんな風に使ってみた！①



フォーマットを使って **思考を可視化**したり、**整理** できる型が用意されており、効果的に使用した。
(**マインドマップ**や**フローチャート**など)

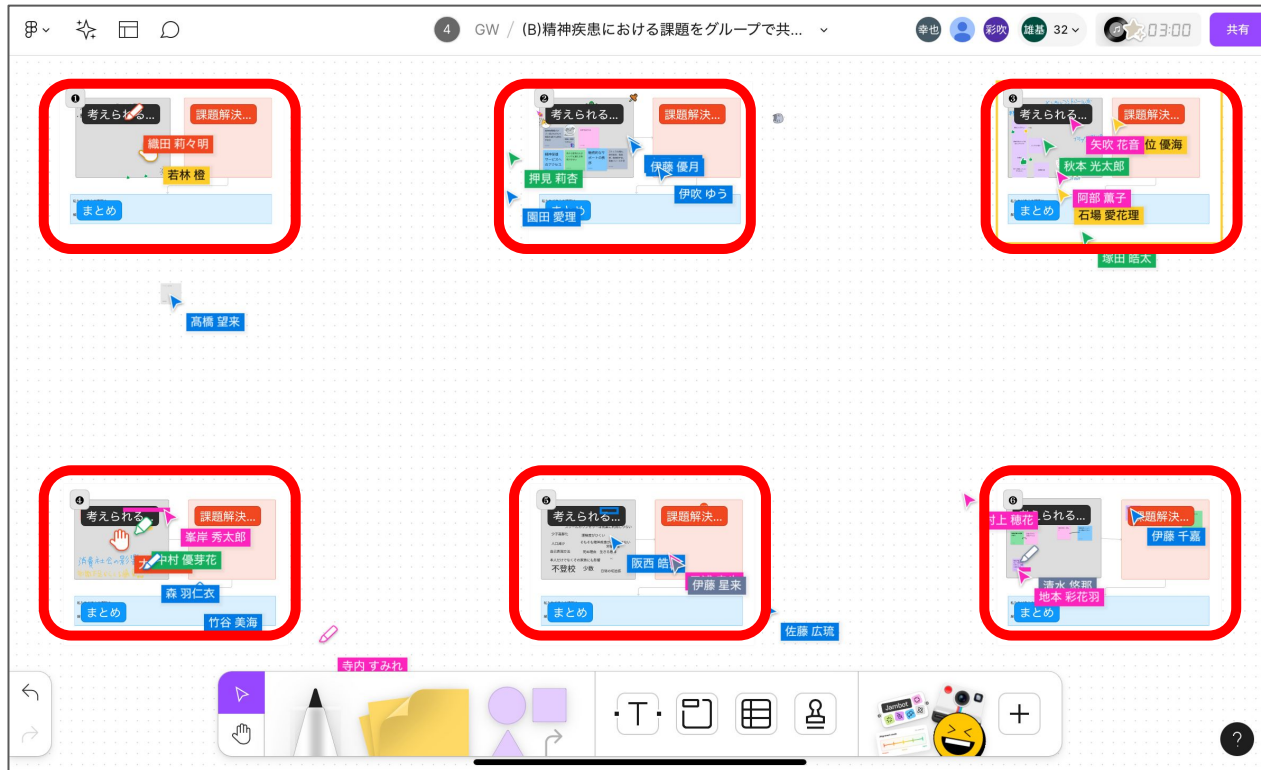


自ら課題を発見する手立てとなった



FigJamこんな風に使ってみた！②

グループワークの場として使用した。



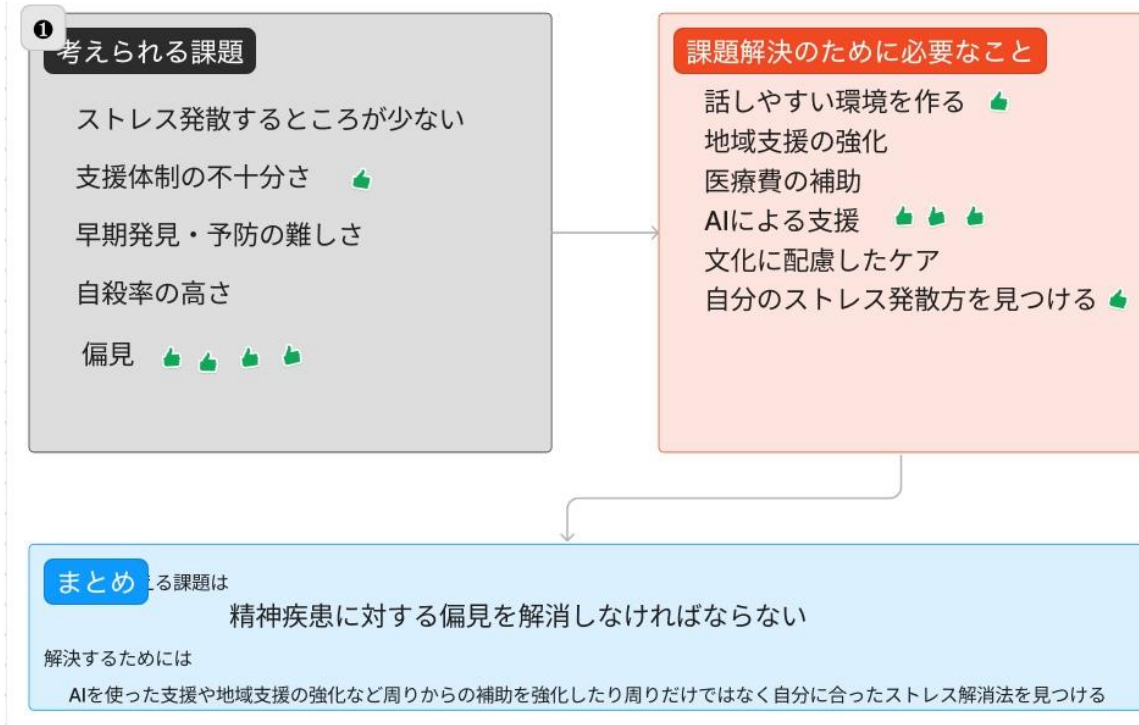
FigJamこんな風に使ってみた！②



グループワークをしながらも、他のグループの内容も逐一観ることができるので、**協働的な学び**も可能に。jamboardで行っていたグループワークを進化させる事が出来た。



FigJamこんな風に使ってみた！②



スタンプ機能を利用して、**コミュニケーションの活性化**を促し、個人やグループでの思考を円滑に！



③2年間を通じた成果と課題について

✓ 中学3年生～高校1年生の2年間のつながりを意識した授業の成果と課題について

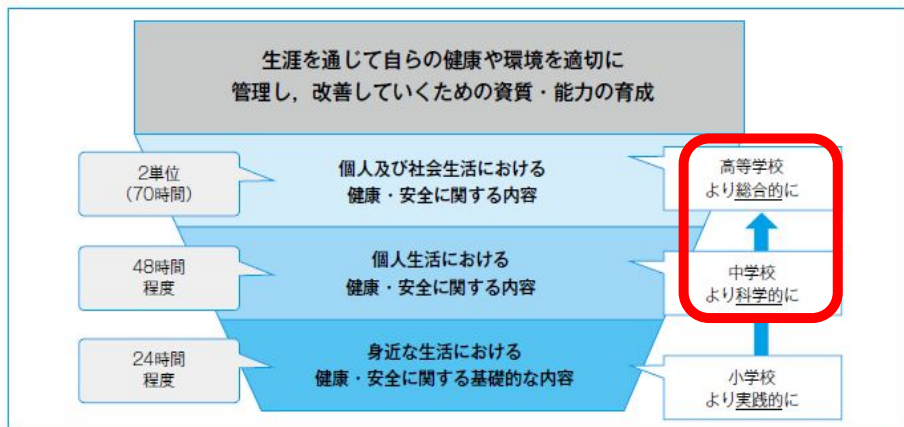


図1-3 保健における体系イメージ



成果について

① Googleフォームを活用した小テストにより、必要に応じて**知識の理解に対する支援**を行うことができた。

② 資料の配布や提出物の回収などの時間の短縮ができ、**学習活動を効率的**に行うことができた。

③ 新たなアプリケーションを用いて、**課題の発見から解決**まで生徒自身で行うことができた。

④ ICTを効果的に活用して、**体系的な授業**を展開できた。



課題について

①プリント作りの労力。

②いろいろな機能があって未知数。使いこなせていない感じがある。(生成AI機能など)

③情報モラルについて。





最後に

ICT活用は手段であり、目的ではないということを忘れてはならない。ICTを活用すれば資質能力が身につくのではなく、**資質・能力を身に付けるために効果的なICT活用の方法を工夫**することが重要である。



ご清聴ありがとうございました。

**北海道登別明日中等教育学校
保健体育科 教諭 田川 雄基**